

令和2年度 特例の教育課程の実施状況などについて

1. 学校・市町村概要 屋我地ひるぎ学園

・教育目標： 自ら学び つながり 未来を拓く 屋我地っ子

・所在地 沖縄県 名護市 字 饒平名159

・児童数(R3. 5. 1 時点)

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	20	17	21	20	17	15	12	122	13	11	12	8	44	166
学級数	1	1	1	1	1	1	3	9	1	1	1	3	6	15

○名護市概要【人口】63,886人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌やゲームなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語音声をまねし、進んで発話する。

3. これまでの成果と課題、今後の取り組み

成果

- 1年生 授業スタート、既習の復習、その日の授業の復習を何曲か曲を組み合わせて行った。スタート時だけでなく終了時にも歌ったり踊ったりすると楽しんで活動していた。
- 毎週のEnglish day以外の日に、何気なく習った英語で教師が話すことで、耳がよくなった。
- 2年生 習った英語や表現方法を使って友達と楽しくコミュニケーションをとろうとする子が増えた。ALT JTE の発音を聞いてアクセントやイントネーションの興味を持つ子が増えた。
- 歌 ゲーム アクティビティを通して、外国語に触れることで外国語に興味を持ち授業を楽しみにしている子供が多かった。外国の話の聞いたりハロウィンなどの行事を体験するなど(日本以外の)他国の文化に触れることができるとてもよかった。
- ハロウィンの行事では、1年生から9年生までみんなが参加して異学年交流を楽しむことができた。
- 中学校の外国語担当の先生が、乗り入れで授業と一緒に参加してくれたことで、子ども達が多様な表現にふれることができた。

課題

- 習った英語を子供たちが日常において使用することが難しい→教師が積極的に使用することが大切。
- 活動をスタートする前の説明に時間がかかり振り返りまで行くのが難しい→担任、JTE,ALTの授業ミーティングで時間配分をしっかりと確認する。